



笑顔いっぱい 友達いっぱい

1・2月の
教育活動



1年生 生活科「ふゆとともだち」

生活科の「ふゆとともだち」では、かげや風で遊びました。風遊びの一つとして、凧揚げをしました。自分だけの凧になるように、デザインや色にこだわって作っていました。

いざ、校庭で飛ばすことになると、凧を持って一生懸命走ったり、風にのってうまく飛ぶように糸の長さを調整したりと、とても楽しそうに活動していました。「また飛ばしたいな」「次はもっとうまく飛ぶといいな」などと話していました。



2年生 生活科「広がれわたし」

生活科の「広がれわたし」の学習が始まりました。この活動を通して、自分の成長に気付くとともに、これからの生活に意欲をもつことをねらいとしています。子どもたちは、持ってきた写真や使っていたおもちゃなどを見せ合いながら、楽しく絵本づくりをしています。

自分の成長には、さまざまな人の支えと愛情があったことに気付き、自分のよさに気付いたり、感謝の気持ちをもったりすることができるようにしたいと思っています。



3年生 クラスの「絆」

年明けから各クラスで「体力づくり」と「クラスの絆づくり」を目標にして、大縄に挑戦することにしました。今は週1回、朝の時間を活用してクラスのみinnで練習に取り組んでいるところです。練習を始めた当初は、縄の回るタイミングをつかめず、ひっかかっていた子ども何度も繰り返し練習に取り組んだり、休み時間に練習したりする中で、徐々にコツをつかみ、上手に跳べるようになってきています。「継続は力なり」です。最後まで練習を続けて、体力をつけて、絆もできて、大縄も上手になって一石二鳥ではなく、三鳥を目指します。



4年生 理科「もののあたたまり方」

2月の理科の学習では金属や水、空気は、どのように温まるのかを理科室や教室で実験をしながら学びました。理科室ではガスコンロで金属や水を熱して、熱の伝わり方を調べました。自分で立てた予想との違いや化学変化に驚きの歓声が起こっていました。教室では温度計を使って教室の上と下の気温を測り、その違いに驚いていました。

「理科が楽しい!」「実験最高!」という思いを抱いた児童が増えました。



5年生 卒業お祝いパーティー 準備

2月16日のなかよし活動では、3月5日に行われる卒業お祝いパーティーに向けての準備を行いました。6年生がいない初めての活動だったので不安や緊張がある中、5年生は6年生の姿を思い出しながら活動を進めていきました。活動後の振り返りでは、計画通りに活動を進めること、グループ全体を気にかけることの難しさを感じながらも、「お世話になった6年生のために、今日の反省を生かして頑張りたい。」「低学年が困っていたら積極的に声をかけ、全員が楽しめるようにしたい。」など、会の成功に向けて意欲的に話す姿が見られました。6年生に楽しんでもらえるように、当日に向けて引き続き準備を頑張っています。



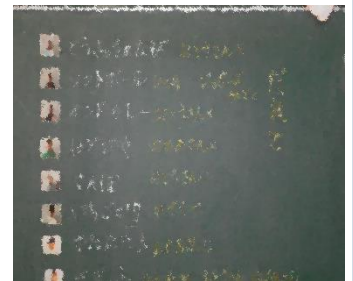
6年生 卒業式練習開始

3月19日に行われる卒業式に向けて、練習がスタートしました。これまでの卒業式の動画を観ることで、卒業式独特の緊張感と厳かな雰囲気を感じ取り、圧倒された様子でした。その後の卒業式練習では、終始静かに良い姿勢を意識し、卒業式の雰囲気を創り上げていこうと頑張っていました。年度初めから、例年と異なることが多い中、よく我慢して最高学年らしさを見せようと穏やかに生活してきた6年生です。最後は自分たちの手で最高の卒業式を創り上げてくれると期待しています。



5組 スピーチタイム

5組では、毎週月曜日の2時間目にスピーチタイムを設けてきました。土日で印象に残った出来事を書きだしてきて、皆の前で発表する形式をとってきました。6月初旬はメモを見て話す子がほとんどでしたが、発表を積み重ねたことにより、最近ではメモを見ずに思い出していえる子が多くなりました。話すだけでなく聞き取った内容の確かめも皆でしてきました。それにより、話すことへの不安や躊躇が少しずつ減ってきて自信にもつながってきています。この学習は次年度も続けていきます。



児童支援専任より

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一斉休校措置がとられ、今年度の本格的な始まりは6月からでしたが、あっという間に年度末を迎えました。学習面も生活面も、一年間の総まとめの時期です。

ふり返りというどうしてもできなかったことに目が向きがちです。ここがうまくいかなかった、よくなかったということを課題として次につなげることはとても大切なことですが、自分のマイナス面ばかりが意識されてしまい、前向きな気持ちになりにくいのではないかと思います。よかったところにしっかりと目を向け、そのよさを生かしていくための具体的な目標が設定できると、より前向きな生活を送ることができると考えています。

お子さんとの会話を通して、ぜひこの一年の努力（頑張り）を認め、よいところを伝えていただければと思います。そのことが子どもの自己肯定感を高めて、新しい年度への意欲につながると思います。